

## 第 3 次計画への追加事項 2 (温室効果ガス削減目標)

## 第 3 章 第 1 節 温室効果ガス削減目標の設定

## 1 2020 年度温室効果ガス削減目標の設定 (素案)

東日本大震災後、エネルギー情勢が大きく変わったが、地球の平均気温上昇幅を 2 以内に抑えるには、2050 年までに世界全体で排出量を半減、特に我が国は、先進国として、1990 年比 80%の温室効果ガスの排出削減を目指している。そのような状況下で、政府は、COP19 に向け、原子力発電による削減効果を含めない現時点での目標との前提をおいたうえで、2005 年度比 3.8%削減 (1990 年度比約 3%増加) するという新たな目標を決定したことを踏まえ、県では、以下のとおり、温室効果ガス削減目標を設定する。

**2020 年度に温室効果ガス排出量を 2005 年度比で 6%削減する  
(1990 年度比 3%削減)**

県民・事業者の削減努力分を見えやすくするため、電力排出係数を前計画の目標年度の 2010 年度 (東日本大震災前) の値に固定した場合、2020 年度までに温室効果ガスを 1990 年度比で 15%削減することとなる。

## &lt; 目標設定の考え方 &gt;

- ・ 国の目標である 2005 年度比 3.8%削減は、「革新的エネルギー・環境戦略(H24.9)」の検討資料に示された対策レベル中位と低位の間と想定されるが、現時点では、詳細な対策内容が不明であることから、国対策としては、より前向きな中位ケース (対策方針試算値と同様) を用いた。
- ・ 上記の国対策削減量に、県独自対策による削減量を上乘せした。
- ・ 京都メカニズム、森林吸収による削減分は、含めていない。
- ・ 国の地球温暖化対策計画が示され、対策が大幅に見直された場合、本計画も見直す。

「対策導入量等の根拠資料(H24.9)」(国立環境研究所 AIM チーム)

国排出量		中環審地球部会原案(成長、原発0%、中位)			
国 (kt-CO <sub>2</sub> /年)		2020年度			
		すう勢ケース	削減量	対策後	削減率 (趨勢比)
I ね 起 CO <sub>2</sub>	産業部門	466,000	15,000	451,000	-3.2%
	民生部門(業務系)	251,000	59,000	192,000	-23.5%
	民生部門(家庭系)	170,000	44,000	126,000	-25.9%
	運輸部門	244,000	37,000	207,000	-15.2%
	I ね 起 - 転換部門	74,000	8,000	66,000	-10.8%
	小計	1,205,000	163,000	1,042,000	-13.5%
非I ね 起 - 部門	163,000	1,000	162,000	-0.6%	
合計	1,368,000	164,000	1,204,000	-12.0%	
削減率(基準年度比)		8.4%	-	-4.6%	-

- 国対策メニュー**
- 【産業部門】 高性能工業炉、廃熱発電、熱供給発電の効率化等
  - 【民生部門(業務系)】 建築物断熱化、高効率給湯器、設備の高効率化等
  - 【民生部門(家庭系)】 住宅断熱化、高効率給湯器、高効率家電、HEMS等
  - 【運輸部門】 効率改善、次世代自動車(EV、HV、PHV、NGV)等
  - 【I  
ね  
起  
-  
転換部門】 太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電等
  - 【非I  
ね  
起  
-  
部門】 家畜排泄物管理、施肥量削減、廃棄物対策等

国の削減見込量を兵庫県排出構造に当てはめて計算

県排出量		2020年度									
兵庫県 (kt-CO <sub>2</sub> /年)		すう勢ケース	国対策削減量	対策後	削減率 (趨勢比)	県独自対策	対策後	削減率 (05年度比)	削減率 (90年度比)	削減率 (趨勢比)	目標
CO <sub>2</sub>	産業部門	51,167	1,828	49,339	-3.6%	954	48,385	0.9%	1.5%	-5.4%	2005年度比
	民生部門(業務系)	5,094	1,720	3,374	-33.8%	489	2,885	-22.9%	15.8%	-43.4%	
	民生部門(家庭系)	10,040	1,936	8,104	-19.3%	639	7,465	-17.5%	24.6%	-25.6%	
	運輸部門	9,251	798	7,453	-9.2%	67	7,420	-20.3%	13.8%	-10.0%	
	廃棄物部門	747	23	724	-3.1%	6	718	-21.9%	62.4%	-3.9%	
	I ね 起 - 転換部門	1,096	0	1,096	0.0%	0	1,096	-46.0%	-30.0%	0.0%	
小計	76,394	6,265	70,129	-8.2%	2,156	67,974	-6.9%	-0.4%	-11.0%	1990年度比	
その他ガス	3,528	382	3,146	-10.8%	36	3,110	12.2%	-35.1%	-11.8%		
合計	79,921	6,647	73,275	-8.3%	2,192	71,084	-	-	-11.1%	-3%	
削減率(1990年度比)	9.4%	(-9.1%)	0.3%	-	(-3.0%)	-2.7%	-	-	-		
削減率(2005年度比)	5.5%	(-8.8%)	-3.3%	-	(-2.9%)	-6.2%	-	-	-		

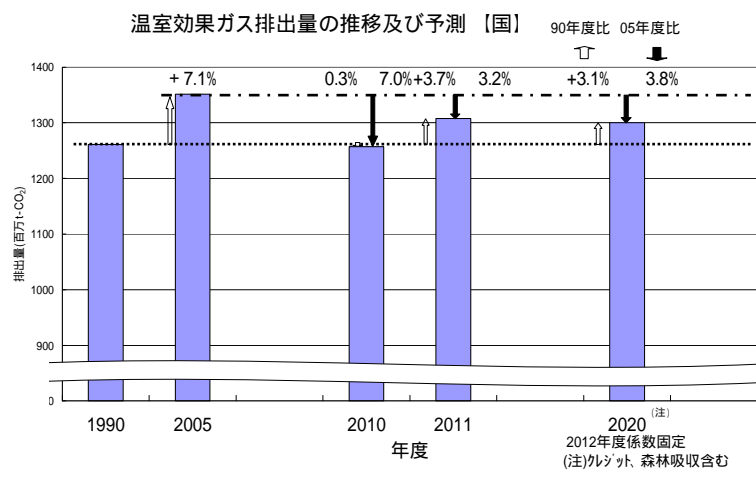
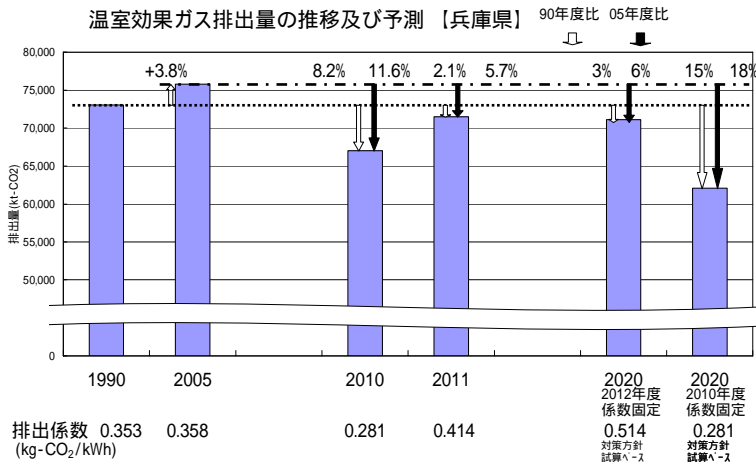


表 試算において見積もった施策の削減量

部門	削減対策	すう勢 排出量	削減量	2020年度 排出量
産業	排出抑制計画・報告制度の見直し、工場排熱利用の促進 等	51,167	2,782 (954)	48,385
民生 (業務)	排出抑制計画・報告制度の見直し、省エネ診断受診 等	5,094	2,209 (489)	2,885
民生 (家庭)	うちエコ診断の推進、住宅用太陽光発電設備設置特別融資事業 等	10,040	2,575 (639)	7,465
運輸	エコドライブの普及 等	8,251	826(67)	7,425
その他	ごみの減量化推進 等	5,371	447(42)	4,924
合計		79,921	8,939 (2,191)	71,084

- ・( )内は県独自対策による削減量(内数)
- ・削減量の算定には、2012年度の電力排出係数0.514kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いた。
- ・小数以下の端数処理の関係で、合計が一致しないことがある。

